

## Ⅱ 教育研究助成 2

### 令和 7 年度 教育実践研究論文助成事業 募集要項

教育に関する実践研究論文を募集し、有益な研究に助成する。

<b>1 主催</b>	(公財) 日本教育公務員弘済会山口支部									
<b>2 趣旨</b>	優れた教育実践研究論文に助成することによって、学校(※注①)教育の質の向上に寄与する。(※注①: 以下、「学校」を「学校・園」に読み替えることとします。)									
<b>3 応募論文</b>	(1) 原則として、公的機関・研究会・市販図書・教育誌等の他、他団体への発表・応募を一切していない論文とします。 (2) 優れた論文については、当会本部主催の日教弘教育賞等に推薦しますが、他へ発表・応募があるものについては推薦できません。									
<b>4 募集対象</b>	(1) 論文は、①学校研究(団体を含む)、②個人研究(グループ研究を含む)の2部門とします。 <b>① 学校研究</b> 国・公・私立の幼(※注②)・小・中・高・特別支援・高専等の各学校、並びにそこに勤務する教育関係者等で組織する教育研究団体 (※注②: 幼 = 幼稚園・認定こども園 (幼稚園型及び幼保連携型)) <b>② 個人・グループ研究</b> 上記の学校・園の他、教育機関等に勤務する個人又はグループ (2) 教育関係者とは、山口県内に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者、またはその退職者。 (3) 学校や教育研究団体、個人やグループで、各1論文の応募が可能です。 (4) 学校研究は、学校長が応募者となります。【9 応募方法】参照									
<b>5 助成金額</b>	(1)学校研究：最高 10 万円 (2)個人・グループ研究：最高 5 万円 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>令和 6 年度実績</td> <td>学校研究</td> <td>個人・グループ研究</td> </tr> <tr> <td>応 募 数</td> <td>7 7</td> <td>9 3</td> </tr> <tr> <td>助 成 金 総 額</td> <td colspan="2">766 万円</td> </tr> </table> ※助成金交付後の成果報告書(会計報告)等の提出は、必要ありません。	令和 6 年度実績	学校研究	個人・グループ研究	応 募 数	7 7	9 3	助 成 金 総 額	766 万円	
令和 6 年度実績	学校研究	個人・グループ研究								
応 募 数	7 7	9 3								
助 成 金 総 額	766 万円									
<b>6 応募期間</b>	<b>令和 7 年 4 月 1 日 (火) ~ 8 月 2 1 日 (木) 必着</b>									
<b>7 提出先</b>	〒745-0041 周南市戎町 2-3 (公財) 日本教育公務員弘済会 山口支部 ☎0834-21-8083 (1) 推薦書兼助成申請書・論文ともに郵送してください。(メール不可) (2) 論文の様式等は、【9 応募方法】を参照してください。 (3) 論文は、推薦書兼助成申請書を上にし、左上をステープラーで留めてください。(クリップ留は不可) (4) 提出された論文は、返却しません。									
<b>8 審査・選考スケジュール</b>	(1) 当会委嘱の教育実践研究論文審査会(9月下旬開催予定)にて審査 (2) 優れた論文を当会本部主催の日教弘教育賞または東京海上日動教育振興基金論文助成に推薦します。(該当校や該当者には、別途連絡します) (3) 10月以降に助成金を交付します。 (4) 個人・グループ研究の助成金は、執筆者の個人口座に振り込みます。(学校研究は、原則として手交とします)									

<p>9 応募方法</p>	<p><b>(1) 研究主題</b></p> <p>論文の執筆に当たっては、「学校教育の現状を踏まえ、実践をとおしてより良い教育を考える」という視点に立ち、研究主題を定め、教育の実践と研究を往還しながら得られた成果と課題を論文にまとめてください。</p> <p>なお、昨年と同一主題の論文を継続して提出する場合は、参考資料として昨年の応募論文のコピーを1部添付してください。</p> <p><b>(2) 論文の作成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原則として、<b>ワード</b>で作成してください。(指定の原稿用紙なし)</li> <li>○ 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。</li> <li>○ 本文1ページ目の6行(段組み左右)を用いて、研究主題・執筆者名を配置してください。</li> <li>○ 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。</li> </ul> <p><b>(3) 論文の提出</b></p> <p>以下の【ア・イ】をそれぞれ2部(1部はコピー)提出してください。</p> <p><b>ア 教育実践研究論文 推薦書兼助成申請書(所属長による推薦)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 論文に添付して提出してください。(令和7年度のものを使用)</li> <li>○ 学校研究の執筆者は、所属長となります。(他の執筆者がいる場合は、論文の文末に記載してください)</li> <li>○ グループ研究では、執筆者欄に代表者名を記載してください。</li> </ul> <p><b>イ 論文</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様式は、24字×43行×<b>2段組</b>×A4判4ページ横書きとします。</li> <li>○ 本文の他、研究主題・執筆者名(学校研究は校長)の記載欄(24字×6行×2段組)及び図表・写真等を含みます。</li> <li>○ 【ア・イ(ひな型)】や要項は、山口支部のHPからダウンロードできます。</li> </ul> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日教弘山口支部</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 10px;">🔍検索</span> </p> <p><b>(4) 留意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図表や写真等は、A4判1ページ以内の分量に収めてください。</li> <li>○ 写真等は、本文中に貼り付けてください。</li> <li>○ 学校研究の応募者は所属長となりますが、所属長以外の担当者(執筆責任者)がいる場合は、論文の文末に記載できます。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○)</p>
<p>10 研究収録(参考用)</p>	<p>4月に学校送付予定の「令和6年度日教弘教育賞教育研究集録」の論文を様式の参考にしてください。当会本部のHPからも見る事ができます。</p>
<p>11 留意事項</p>	<p>(1) 様式等に不備がある場合、審査対象外とすることがあります。</p> <p>(2) 応募論文の著作権は(公財)日教弘・山口支部及び推薦先に帰属します。</p> <p>(3) 助成決定した場合、論文名・学校名及び個人・グループ名を当支部のHP・広報誌等に掲載することがあります。</p>
<p>12 備考</p>	<p>応募論文の中から特に優れたものを選考の上、以下に推薦します。</p> <p><b>(1) 日教弘教育賞(後援:文部科学省)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校研究 :50万円(最高)</li> <li>○ 個人・グループ研究:30万円(最高)</li> </ul> <p>ただし、過去5年以内(令和2年度~令和6年度)の受賞校・受賞者は、「学校研究」、「個人・グループ研究」を問わず推薦できません。推薦後に公的機関・研究会・市販図書・教育誌等に既に発表したもの、或いは他団体に応募済と見なされた論文は推薦取消となる場合があります。</p> <p><b>(2) 東京海上日動教育振興基金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校・団体研究:25万円(最高)</li> <li>○ 個人・グループ研究:17万円(最高)</li> </ul>